

<p>授業の感想</p> <p>先生の授業はアクティブで楽しいです。オンラインでは一番大切な人との出会いがないので毎日の授業が苦痛になりつつあります。</p> <p>先週は、受講生の皆さんが調べたNPOが数多く紹介され、本当に多岐にわたる団体が存在することがわかった。そして今週、RSSCの先輩でもある宮崎様の具体的な説明をいただき、NPOのことが少しずつではあるがわかってきたように感じる。この後の永井セカンドライフのことを考えると、ぜひこの授業全体を通じて自分の将来も考えたいと思う。</p> <p>NPO法人の持続化は活動と運営の両輪で、単なるボランティアとは違うのだろう。</p> <p>宮崎さんのプレゼンテーションを聞いて、その活動範囲がとても広いことに驚いた。自分ならどの様な貢献ができるかを考えたが、明確な答えが出せなかった。もっと勉強しないと答えが出せない。</p> <p>60代前半でTV中心（受け身）、間違いなく、退職したら明日は我が身です。1週間の計画を立てて過ごす、積極的にいろいろな人と交流する機会を作る。</p> <p>本日の題材のNPO法人の活動量の多さに圧倒されました。RSSCで知り合った同志でのNPO立ち上げから運営は、人生100年のお手本ようです。</p> <p>初めは「さいちゃれ」の活動内容の多彩さに敷居が高いように感じました。が、設立時の様子を聞いて、一歩ずつ積み上げてきて現在に至るのだと理解できました。</p> <p>自分自身で、NPOを立ち上げるのはかなりハードルが高いと感じています。宮崎さんが最後におっしゃった社会に貢献しているという自負と覚悟という言葉が印象的でした。NPOに参加するのは、どのようなスキルが必要か。また、自分はどうのようなNPOが向いているかなどの話も聞きたいと思いました。最後の座標軸の図、参考になりました。自分は4番でした。</p> <p>活動内容、収支内容等を調べる事で力が入り過ぎていた様な気がします。調べたNPO法人は何年も試行錯誤してそこに辿り着いているんだと再確認しました。</p> <p>NPO活動も考えていたが、まずは既存のNPOに参加することから始めた方が良さそうだ。ITと経営戦略に関する知識がなければ、主宰は難しい。</p> <p>本講座に参加して、学び直しの難しさと本当にやりたいことを見つけることの難しさを痛感しています。講座を通して自分に合った共感をベースとした活動を求めていきたいと思っています。</p> <p>NPOというものが、少しわかり始めました。私の今までの経験がどこかでお役に立てたらいのですが...。以前受けた研修で「いくつになっても金額にかかわらず収入という形が大切」と聞きました。無償ボランティアと仕事の違いも考え始めています。</p> <p>RSSC終了後特定のものに限定せず仕事様々な社会課題解決に携わっていきたいという思いはあるものの、活動面の制約等の問題から手法としてNPOが良いのかどうか方向が定まっていない。今回は、ブレイクアウトルームで他の方々のNPOに対する様々な意見を聞くことで刺激を受けるとともに、事業への思いの共感やスキルの補完等で連携できる仲間が見つけられれば良いという期待も感じさせる授業であった。</p> <p>本日、宮崎弘行様から実際のNPO活動のご説明を受け、NPO活動の実態の一部に触れることができました。NPO活動継続のために、多様な収入構造を構築することが肝要であると実感しました。今後、NPO活動に参画したいと考えていますが、自分が大切にしている価値観に結びつく活動で、かつ社会が必要としているのは何か？を探ってゆきます。</p> <p>今回ご紹介いただいた内容は、非常に興味深かつ切実な内容であると思いました。シニアの時間の使い方を考えるために重要な取り組みでもあると思います。</p> <p>宮崎様の講義を聞いてNPO法人の活動内容が良くわかりハードルが高いと思いました。</p> <p>宮崎さんのプレゼンテーションを聞き、活動範囲がとても広いことに驚いた。そこで、自分ならどの様な貢献ができるかを考えたが、明確な答えが出せない。もっと勉強しないといけないと痛感した。</p> <p>RSSC修了後は社会貢献活動に係わりたいとは思いますが、まだ具体的な目的・手段は決まっていません。</p>
--

一つのNPOで複数の目的を持った活動がされる現実を知ることができました。しかしTVで紹介されるようなNPOでも必ずしも思い通りの結果が出ない、参加メンバーが減少、財政的に恵まれるわけではないという厳しい現実も理解できました。短期長期的なビジョン、ストラテジなどの計画と、確実に結果を出すアクションの実行などが必要なのではないかと感じました。

フィリピンの子どもへの絵本の翻訳・寄贈事業が継続するためにはどうしたら良いのでしょうか。また、台風被害を減らすために早期に台風進路をフィリピンに伝えてタイムラインに従って早めに避難するような仕組みを作ったらどうか。

「シニアの再チャレンジを支援する会」の宮崎様の講義を大変興味深く聴かせていただきました。まず、ミッションが共感できること、それを実現するための三本柱のコンセプトが素晴らしいと思いました。反面、ミッションを広く定義しているため、活動が冗長的になってしまうのではという懸念も抱きました。三本柱の一つ一つにNPOがそれぞれあってもおかしくないと思われるほど十分な意義があり、また活動量がありそうです。維持が大変なんだろうと推察します。定義はそのまま広くしておいて、着手を一步一步プライオリティをつけて進めるのも一考だと感じました。

卒業後はNPOに関わることに興味を持っています。何という具体案はまだありませんが、在学中に考えを深現在のコロナ禍でペインを癒やす為の行動に繋がられるのか、行動を継続させるために一工夫必要なのではないかという想いを感じた。

NPO法人を維持することが改めて大変な事だと思いました。単に思い付きや希望だけでは設立出来ないと考えられます。

本日、宮崎弘行様から実際のNPO活動のご説明を受け、NPO活動の実態の一部に触れることができました。NPO活動継続のために、多様な収入構造を構築することが肝要であると実感しました。今後、自分が大切にしている価値観に結びつく活動で、社会が必要としているのは何か？を探ってゆきます。

宮崎さんのお話からNPO法人の活動のイメージがよく理解できました。

出発点となるのは社会の抱えた諸問題へのアクション欲求。そこに共感する人が、シニアとして何ができるかを考える。

議論を通して、活動ジャンルが広がっていくイメージでしょうか。その際、自分が培ってきたキャリアや技能を生かすことが出来れば...

「目的をもって何かをしたい。同じようなことを思っている仲間を見つけない」。そんなアクション欲求がはじまりの一歩ですね。